

乳児保育 MEMO

昔の話

「ちいさいころから保育園に預けるのはかわいそう」

保育＝生活まると

家庭・病院・療育・近所コミュニティ・保育園（人：先生子どもだけではない）

人・モノ・金・施設… ＝社会資源

エピペン（アドレナリン自己注射薬）

15kg 以上 30kg 未満 0.15mg

30kg 以上 0.3mg

体重 15kg 未満の子供には処方されない

頭部重い＝転倒 けが

しゃべれないところからだんだんしゃべれるようになる

熱中症

個人差が大きい のむのむたいむ

汗腺の発達が不十分＝体温を下げる能力が脆弱

外気温の影響を受けやすい＝熱がこもりやすい 黒×白

身長が低い＝地面付近の高温環境にさらされやすい

水分割合が高い＝体内の水分量が多い＝脱水症状になりやすい

薬膳 きゅうり 「寒性」食材＝体を冷やす

五味 甘味

アレルギーになる＝ 3つ 食べる 触る 吸う

防ぎたい＝ 皮膚が健康であること ＝ 乳児アトピー

「保護者支援」

経済的事情＝食料・ミルク 病院 仕事をやすまなければならない

乳児もスマホ依存傾向 乳児でもスマートフォンやタブレットの画面をみるだけで

不安やイライラを感じる「ESS 電子スクリーン症候群」兆候

あそび

外あそび 内あそび 行事…

お家でのあそび

何gで誕生したのか

どんなあそびが興味関心をくすぐるのか 安心安全なあそび

動的 静的 ごろりんあそび＝けがの確率が低くなる 集中 心が穏やかに＝リラックス

感覚統合 情緒安定 模倣遊び コーナーあそび =ひとりで過ごせる空間
寒天あそび

食紅で色をつけます 視覚的感覚 色彩感覚も育成
型抜きやスプーンで操作 微細運動の促進
冷たい感触を楽しむ 感覚統合と情緒安定
葉っぱやお花を「閉じ込める」 季節感・自然への興味喚起
食材としての安全性 誤飲リスクの軽減と安心感 吸音パネル

保護者支援・保護者との距離感・保護者とどのように子育てに向き合っていくのか

アプリ

言語の壁

けが 事故 予防
窒息 アレルギー 段差 扇風機

[乳アレルギーの子]

例えば…

バナナとクッキー セットのおやつ ※クッキーに乳を使われている
バナナを配膳した手袋のままクッキーを配膳してしまったらどうなる？ 誤配膳

パンを配った手袋のまま、クラスを移動する際、ドア取っ手を触ってその低い位置にある
ドアを触った子が、アレルギーが出てしまったらどうする？

睡眠が十分とれているか！とても大事！睡眠がとれていないと、いろいろなことにつなが
ってしまう

集中できない 機嫌が悪くなる

睡眠 栄養（特にアレルギー等のように制限食） 休養 愛着形成ができているか

お預かりした姿のまま、お子さんをお返しする使命がある

充電中のモバイルバッテリーなどの発火

洋服 ズボンにわっかがついていないもの フードの無いもの

長袖長ズボンの着用の色選び 肌の露出と濃い色の衣類を避ける（明るい色・白・黄色・水色等）

保育士等キャリアアップ研修をご受講の皆様には、本日ご受講いただきます乳児保育の内容
容・補足をまとめて、共有いたします。

最近の乳児保育は、少子化や保育士不足といった社会的背景を受けて、大きく変化していま
す。

2025 年度 保育士配置基準の最新改定内容

 改定の背景と目的

2025 年度から、保育士の配置基準に関して大きな見直しが行われています。これは、保育
の質向上と職員の負担軽減を目的とした段階的な施策であり、特に **1 歳児クラスに対する
配置改善が注目されています**

 年齢別の配置基準の変更点（2025 年度）

年齢	旧基準	新基準（2025 年度）	備考
0 歳児	3:1	変更なし	保育士 1 人に対して子ども 3 人
1 歳児	6:1	5:1（加算措置）	条件を満たす施設に加算支給 2
2 歳児	6:1	変更なし	保育士 1 人に対して子ども 6 人
3 歳児	20:1	15:1	2024 年度に改正済み
4・5 歳児	30:1	25:1	2024 年度に改正済み

加算措置の条件（1 歳児クラス）

1 歳児クラスの配置改善（5:1）に対して加算措置が導入される施設は、以下の 3 条件をす
べて満たす必要があります

1. **ICT 活用**：登降園管理、記録・計画、保護者連絡、キャッシュレス決済などのうち
2 項目以上を導入。
2. **職員の平均経験年数**：10 年以上。
3. **処遇改善加算Ⅰ～Ⅲのすべてを取得していること。**

この加算措置は、将来的に「基準そのものの引き上げ（5:1）」へと移行することを見据えた
段階的な施策です。

政府方針と制度の方向性

厚生労働省が掲げる「保育政策の新たな方向性」では、以下の点が強調されています

- **誰でも通える保育制度**の推進
- 保育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- **障害児や医療的ケア児の受け入れ体制の充実**
- **地域ニーズに応じた専門職の配置強化**

これらは、保育の質向上と包括的な支援体制の整備を目指すものです。

注目すべきポイント

保育政策の新たな方向性（2025～2028 年度）

こども家庭庁が発表した新方針では、保育の「量」から「質」への転換が進められています。

- **地域ニーズに応じた質の高い保育の確保**
 - 職員配置基準の改善（例：3 歳児の基準が 20 人→15 人に変更）
 - 安全性・発達支援の強化
- **すべての子どもと家庭への支援**
 - 障害児・医療的ケア児への対応強化
 - 病児保育・一時預かりの充実
 - 「こども誰でも通園制度」の試験導入（2026 年度に本格実施）
- **保育人材の確保と業務改善**
- 保育士の処遇改善
- 保育 DX（ICT 導入）による業務効率化

少子化と「保育の 2025 年問題」

- **出生数が初の 70 万人割れ**（2024 年度）
- 地方では園児数の減少により、保育所の統廃合や多機能化が進む見込み
- 都市部では依然として待機児童問題が残る一方、地方では園児確保が課題に

保育士の職場環境と人材確保

- **潜在保育士の復職支援強化**
 - 就職準備金や保育料の貸付制度（2 年勤務で返済免除）
- **メンタルヘルスケアの重要性**
- 保育士のストレス対策や相談体制の整備が進行中

「誰でも通える保育制度」とは？

これは、すべての子どもが家庭の事情に関係なく、保育所や幼稚園などに通えるようにする制度です。たとえば、保護者が働いていなくても、子どもが保育を受けられるようにするこ

とを目指しています。

保育 DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、単なる ICT 導入にとどまらず、**保育の在り方そのものを変革する取り組み**です

保育 ICT と DX の違い

用語	意味	具体例
ICT（Information and Communication Technology）	情報通信技術を活用して業務を効率化する「手段」	登降園管理、連絡帳アプリ、請求業務のクラウド化
DX（Digital Transformation）	ICT を活用して業務や組織の構造を根本から変える「目的」	AI によるシフト最適化、データ分析による保育の質向上

保育 DX の導入で何が変わる？

- **事務作業の効率化**
 - 手書きの日誌や連絡帳 → タブレットやアプリで入力
 - 給付・監査書類 → 自動作成・オンライン提出
- **保護者対応のスマート化**
 - 見学予約や入所申請 → スマホでワンストップ申請
 - 保育料などの集金 → キャッシュレス決済
- **自治体との連携強化**
- 「施設管理プラットフォーム」によるデータ共有
- 給付・監査業務の標準化と自動化

期待される効果

- 保育士の**事務負担軽減** → 子どもと向き合う時間の確保
- 保護者の**保活負担軽減** → 情報収集・申請がスマホで完結
- 自治体の**業務効率化** → 入力・審査作業の自動化

0～2 歳の乳児期は、身体・心・社会性のすべてが急速に発達する時期であり、保健・発達の視点から特に注意すべきポイントがいくつかあります

0 歳（新生児～12 ヶ月）の注意点

- **身体的発達**
 - 首すわり・寝返り・お座り・ハイハイなどの運動発達を月齢ごとに確認
 - 授乳・排泄・体重増加などの基本的な健康指標を定期的にチェック

- 予防接種スケジュールの管理（BCG、三種混合など）
- **心理・情緒面**
 - 泣く・笑う・喃語などの表現を通じて、愛着形成が始まる
 - 視線を合わせる、声に反応するなどの社会的反応を観察
- **注意すべき兆候**
- 極端に反応が乏しい、視線が合わない、音に反応しないなどは早期相談対象

1 歳（12～24 ヶ月）の注意点

- **運動・認知発達**
 - つかまり立ち～ひとり歩き、指先の操作（積み木・スプーン使用など）
 - 簡単な言葉の理解と発語（「ママ」「ワンワン」など）
- **社会性・情緒**
 - 人見知り・後追い・模倣行動が活発になる
 - 自我の芽生えによるイヤイヤ期の兆候
- **保健面**
- 歯の生え方・虫歯予防・食事の移行（離乳食→幼児食）
- 1 歳半健診での発達チェック（指差し・積み木・言語理解など）

2 歳（24～36 ヶ月）の注意点

- **言語・認知**
 - 二語文の出現（「ママ きて」「ワンワン いた」など）
 - 「これなに？」などの質問が増え、語彙が急増
- **社会性・行動面**
 - 自己主張が強くなる（イヤイヤ期本格化）
 - ごっこ遊び・友達との関わりが始まる
- **保健・生活習慣**
- 着替え・トイレ・食事などの自立行動の練習
- メディア視聴時間の管理（日本小児科学会は 2 歳未満の長時間視聴を推奨せず）

1 歳半健診や言語・社会性の発達は重要なチェックポイントです。

昼寝には、ただの「休憩」以上の価値があります。適切な時間と方法で行えば、心身のパフォーマンスを大きく高めることができます

昼寝のメリット（10～20 分のパワーナップ）

効果	内容
集中力・記憶力の向上	脳の疲労をリセットし、学習効率や作業精度がアップ
仕事・勉強の効率アップ	午後の生産性が向上し、ミスや作業遅延が減少
血圧の低下	平均 5mmHg 下がるという研究結果もあり、心臓病リスク軽減に寄与
ストレス軽減	コルチゾール（ストレスホルモン）の分泌が抑えられ、気分が安定
疲労回復	細胞修復が促進され、体力が回復しやすくなる

昼寝の注意点とデメリット

- 30 分以上の昼寝は逆効果になることも
 - 睡眠慣性（起きた後のぼんやり感）が強くなる
 - 夜の睡眠の質が下がり、不眠症の原因になる可能性
 - 60 分以上の昼寝は生活習慣病のリスクを高めるという報告も
- 午後 3 時以降の昼寝は体内時計を乱す可能性があるため、避けた方がベター。

昼寝のベストな取り方

- 時間：10～20 分
- タイミング：昼食後～午後 3 時まで
- 姿勢：座ったままでも OK。横になる場合はタイマー必須
- 裏技：昼寝前にコーヒーを飲むと、目覚めがスッキリ（カフェインナップ）

0 歳～2 歳児の保育では、「安心感」と「個別性」が何よりも大切です。

この時期は発達スピードや個性が大きく異なるため、子ども一人ひとりに寄り添った関わりが求められます。

年齢別に大切にしたいポイント

0 歳児：信頼関係と安心感の土台づくり

- 愛着形成：特定の保育者との安定した関係が、心の土台になります
- 生活リズムの尊重：授乳・睡眠・排泄など、生理的欲求に応えることが中心
- 環境の安全性：誤飲や転倒を防ぐため、清潔で安心できる空間づくり
- スキンシップ：抱っこ・語りかけ・ふれあい遊びで情緒の安定を促す

1 歳児：自我の芽生えと探索のサポート

- 「やりたい！」を受け止める：自分でやりたい気持ちを尊重し、見守る
- 言葉の獲得を支える：語りかけや絵本、手遊びで言語発達を促す
- 模倣・ごっこ遊び：身近な大人の動きを真似ることで社会性が育つ
- 感情の共感：「悔しかったね」「嬉しかったね」と気持ちに寄り添う

2 歳児：自立へのステップと社会性の育ち

- 自分で選ぶ・決める経験：「どっちにする？」など選択肢を与える
- 友だちとの関わり：トラブルも成長のチャンス。仲立ちしながら見守る
- ルールや順番を学ぶ：簡単なゲームや集団遊びで社会性を育む
- 感情表現のサポート：言葉で気持ちを伝える練習を丁寧に

共通して大切なこと

- 一人ひとりの発達に合わせる：月齢や個性に応じた保育を
- 応答的な関わり：子どものサインに気づき、すぐに応える姿勢
- 保護者との連携：家庭との情報共有で、安心感と一貫性を持たせる
- 保育者の表情・声・動き：穏やかでゆったりとした関わりが安心につながる

園庭がなくても、0～2 歳児がのびのびと楽しめる遊び

室内や近隣の環境を活かして、発達段階に合わせた遊びを工夫することがポイントです。

以下に年齢別・ジャンル別

0 歳児向けの遊び（感覚・関係性を育む）

感触あそび

- 寒天・片栗粉スライム・小麦粉粘土
- プチプチ（緩衝材）を踏む・握る
- 高野豆腐・スポンジ・布などの素材遊び

手遊び・ふれあい遊び

- 「いないいないばあ」「あたまかたひざポン」
- 保育士とのスキンシップ遊び（くすぐり・抱っこリズム）

マット・運動あそび

- マットの上でコロコロ・ハイハイ
- トンネルくぐり・クッション山登り

1 歳児向けの遊び（探索・模倣・自我の芽生え）

運動あそび

- サーキット運動（段差・トンネル・滑り台）
- フープで船ごっこ・ボール転がし

手作りおもちゃ

- センサリーボトル（ペットボトル+ビーズ）
- 洗濯ばさみライオン（指先トレーニング）
- カプセルマラカス・段ボールパズル

ごっこ遊び・模倣遊び

- おままごと（布食材・空容器）
- お世話ごっこ（ぬいぐるみ+布団）

2 歳児向けの遊び（言語・社会性・創造力）

ゲーム・ルール遊び

- 風船キャッチ・ボーリング（ペットボトルピン）
- 魚釣りゲーム（磁石+クリップ）

製作・創作あそび

- フィンガーペイント・スタンプ遊び
- 紙コップ・牛乳パック工作（動物・乗り物）

集団あそび・リズムあそび

- リトミック（音楽に合わせて動く）
- 手遊び歌メドレー（季節の歌・動物の歌）

園庭がない園での工夫ポイント

- **ベランダ・ホール活用**：シャボン玉・水遊び・日向ぼっこ
- **近隣散歩**：公園・神社・電車スポットなどを安全に活用
- **室内環境構成**：間仕切りを外して広く使う、マットやソフトブロックで運動空間を作る
- **季節感の演出**：壁面装飾・季節の素材（落ち葉・花）を使った遊び

両眼視（立体視）とは、左右の目で少し違う角度から見た情報を脳が統合することで、奥行きや立体感を感じる能力のことです

両眼視のしくみ

- 人間の目は顔の左右に約 6cm ほど離れてついています。

- 同じ物体を見ても、左右の目にはわずかに異なる像（両眼視差）が映ります。
- 脳はこの視差を利用して、物体の**位置・奥行き・立体構造**を計算します。
- このしくみが「**立体視（ステレオ視）**」です。

両眼視が生み出す感覚

視覚機能	内容	例
融像（ゆうそう）	左右の目の像を1つにまとめる	両目で見たときに像がぶれない
立体視	視差から奥行きを感じる	ボールが「手前にある」と感じる
奥行き知覚	距離や空間の広がり認識	階段の段差がわかる

乳幼児期の発達と重要性

- 生後2～6ヶ月頃から両眼視の基礎が育ち始めます。
- 感受性期（0～6歳）に両眼視が育たないと、立体視が獲得できないことも。
- 弱視・斜視などがあると、片目だけで見る癖がつき、両眼視が育ちににくくなるため、早期発見・治療が重要です。

両眼視が活躍する場面

- 階段の昇降やボール遊びなど、**距離感が必要な動作**
- 絵を描く、積み木を積むなどの**空間認識**を使う遊び
- 車の運転やスポーツなど、**瞬時の判断**が必要な場面

両眼視は、ただ「見る」だけでなく、**世界を立体的に理解するための土台**です。

乳幼児期に視力を大切にすることは、

一生の「見る力」の土台がこの時期に形成されるからです👁️👁️。

医学的・発達的な観点からその重要性を整理します。

1. 視力は「脳の発達」と密接に関係している

- 視力は単なる「目の性能」ではなく、**目と脳の連携によって成立する感覚機能**です。
- 見たものを脳で認識・処理することで、**言語・運動・情緒・社会性の発達**にも影響します。
- **特に両眼視（立体視は2歳頃までに急速に発達し、空間認識や距離感の獲得に不可欠です。**

2. 視力は乳幼児期に急速に発達する

年齢	平均視力	発達の特徴
新生児	約 0.01	明暗がわかる程度。顔の輪郭をぼんやり認識
生後 2～6 ヶ月	0.05～0.1	両眼で物を追う「追視」が始まる
1 歳	約 0.2～0.3	奥行きや色の認識が進み、立体視の基礎が形成される
3 歳	約 0.5～0.8	弱視や斜視の早期発見が重要な時期
5 歳	約 1.0	成人に近い視力に到達

3. 弱視・斜視などのリスクがある時期

- 視覚感受性期（0～6 歳）に視力の発達が妨げられると、眼鏡をかけても視力が出ない「弱視」になる可能性があります。
- 片目だけ視力が悪い場合、もう片方の目が補ってしまい、保育者・保護者が気づきにくいことも。
- 3 歳児健診での視力チェックは、**両眼のバランスを確認する重要な機会**です。

4. 視力の発達を促す生活習慣

- **屋外遊び**：自然光や遠くを見ることで近視予防に効果あり
- **スマホ・タブレットの使用制限**：2 歳未満は原則非推奨。視力・睡眠・情緒に悪影響の可能性
- **目を使う遊び**：絵本、積み木、かくれんぼなどで「見る力」と「認識力」を育む

5. 保護者・保育者が「気づいてあげる」ことが何より大切

- 赤ちゃんは「見えにくい」「まぶしい」などを**言葉で伝えられません**。
- 視線が合わない、目を細める、片目だけ隠すと嫌がるなどの**サインを見逃さない**ことが重要です。

視力は「感覚」ではなく「発達」です。だからこそ、**早期の気づきと環境づくり**が一生の「見る力」を育てます。

市販の粉ミルクとアレルギー対応ミルクの味覚には、成分の違いからくる特徴があります。

市販の育児用ミルク（一般的な粉ミルク）

これらは母乳に近づけるように設計されており、栄養バランスや味にも工夫がされています。

主なメーカーと味の特徴

メーカー	商品名	味の傾向
明治	ほほえみ	甘みが強く、濃厚な味わい
森永乳業	はぐくみ	まろやかで飲みやすい
雪印メグミルク	びゅあ	控えめな甘さでさっぱり
グリコ	アイクレオ	母乳に近い薄味、自然な風味
和光堂	はいはい	コクがあり、うまみ強い
ビーンスターク	すこやか	甘み・うまみ・コクのバランスが良い

乳児によって好みが分かれるため、少量ずつ試してみるのがベストです。

アレルギー対応ミルク（ペプチドミルク・アミノ酸ミルク）

これらは牛乳由来のタンパク質を加水分解して分子量を小さくし、アレルギー性を低減したものです。

味の傾向と特徴

- 味は一般ミルクよりも薄く、独特の風味があります。
- 苦味や酸味を感じることもあり、赤ちゃんによっては飲みにくいとを感じる場合も。
- 甘みは控えめで、母乳との併用にはやや工夫が必要です。

代表的な商品には「E 赤ちゃん（森永乳業）」や「ペプチドミルク（アイクレオ）」などがあります。

味覚比較のポイント

比較項目	市販ミルク	アレルギー対応ミルク
甘み	強め～中程度	控えめ
コク	しっかり	あっさり
飲みやすさ	高い（赤ちゃんによる）	慣れが必要
成分	牛乳由来	加水分解タンパク質／アミノ酸ベース

味覚比較を実際に行いたい場合は、少量パックやスティックタイプで試飲するのがおすすめです。赤ちゃんの反応を見ながら、飲みやすいものを選んでいくと良いです。

母乳育ちの赤ちゃんがミルクを飲めない（または嫌がる）場合、単なる「好み」だけでなく、**感覚・心理・環境・哺乳技術**などが複雑に絡んでいることがあります。

よくある原因

原因	説明
哺乳瓶の乳首が合わない	母乳と感触が違い、違和感を覚える
ミルクの味や匂いが苦手	母乳と風味が異なるため拒否する
温度が合わない	母乳より熱すぎる・冷たすぎると嫌がる
授乳姿勢や環境の違い	落ち着かない環境では集中できない
ママ以外からの授乳に混乱	「なぜおっぱいじゃないの?」と不安になる

少しずつ慣れさせる対応策

哺乳瓶の工夫

- 乳首の形・素材・サイズを変える：月齢に合った柔らかめのものを試す
- 乳首を温める：冷たいと違和感があるため、人肌程度に温める
- 複数メーカーを試す：赤ちゃんによって好みが分かれる

ミルクの温度と味

- 母乳に近い温度（約 38～40℃）に調整：手首に垂らして確認
- メーカーを変えてみる：味の違いで飲むようになることも
- 搾乳した母乳を哺乳瓶で与える：まずは哺乳瓶に慣れさせるステップとして有効

環境とタイミング

- 静かな場所で授乳：テレビや話し声を避ける
- 眠いタイミングを狙う：ウトウトしていると受け入れやすい
- ママ以外の人が授乳する：混乱を避けるために別の人が担当するのも効果的

徐々に慣らすステップ

1. 搾乳した母乳を哺乳瓶で与える（保育園では冷凍母乳等を預かることがすくなくなってきたので、ご家庭で試してもらうことが良い）
2. 哺乳瓶に慣れたらミルクを少量混ぜる
3. ミルクの割合を徐々に増やす
4. 完全ミルクに移行（必要に応じて）

注意すべきサイン

症状	対応
嘔吐・下痢・発熱	ミルクアレルギーや体調不良の可能性
体重が増えない	栄養不足の可能性。健診で相談を
機嫌が悪く元気がない	医療機関の受診を検討
スプーン授乳なども…	

幼児が大きな口を開けて食事ができない場合、単なる「食べムラ」ではなく、**口腔機能や発達、心理的要因**が関係していることがあります。

✿ 主な原因（0～5 歳児に多いケース）

原因カテゴリ	詳細
口腔機能の未発達	舌や口周りの筋肉が弱く、口を大きく開ける力が不足している
口唇閉鎖不全症（お口ポカ ン）	常に口が開いている状態が習慣化し、食事時に口をうまく使えない
鼻呼吸ができない	アレルギー性鼻炎や鼻づまりで口呼吸が習慣化し、口の使い方が乱れる
歯並び・顎の発達の問題	出っ歯や受け口などで口が閉じづらく、開ける動作も制限される
舌の位置異常（低位舌）	舌が下に落ちていることで、口を開ける動作が不自然になる
心理的要因	食事への不安、緊張、過去の痛みなどが口を開けることへの抵抗につながる
姿勢の問題	猫背や首が反っている姿勢では、口を開けづらくなる

✂ 対応・改善策

🍴 食事環境の工夫

- **姿勢を整える**：椅子に深く座り、足が床につくように調整
- **食具の工夫**：スプーンのサイズや形状を見直し、口に入りやすいものを選ぶ
- **食材の形状調整**：一口サイズで口を開けやすい形にする（細長いより丸みのある形）

💡 口腔機能トレーニング

- **あいうべ体操**：口を「あ」「い」「う」「べ」と動かすことで筋肉を鍛える
- **風船・シャボン玉遊び**：口周りの筋肉を楽しく鍛える
- **ガムトレーニング（3 歳以上）**：左右均等に噛むことで口唇・舌の筋力を強化

🏥 医療的アプローチ

- **耳鼻科受診**：鼻づまりやアレルギーがある場合は治療を検討
- **歯科・小児矯正相談**：歯並びや顎の発達に問題がある場合は早期対応が有効
- **口腔筋機能療法（MFT）**：専門的なリハビリで口唇・舌・頬の筋肉を鍛える

家庭でできるサポート

方法

目的

「あーん」の声かけを楽しく 口を開けることへの抵抗感を減らす
鏡を使って口の動きを見せる 自分の口の動きを意識させる
一緒に食べる・見本を見せる 模倣行動を促すことで自然に口を開ける習慣づけ
無理強いしない 食事への安心感を育てることが最優先

2024 年 5 月 19 日・日本歯科医学会が令和 6 年 3 月に発表した『口腔機能発達不全症に関する基本的な考え方』について 目を通しておくことをお勧めします

口腔機能発達不全症とは？

これは、子どもが「食べる」「話す」などの口の機能をうまく発達できていない状態を指します。明らかな病気がないにもかかわらず、口の機能が十分に育っていない場合に診断されます

主な特徴

- **食べる機能**：咀嚼（かむこと）や嚥下（飲み込むこと）がうまくできない。
- **話す機能**：発音が不明瞭だったり、口を閉じる力が弱い。
- **その他の機能**：口呼吸や口の周りの過敏さなどが見られる。
- **自覚症状が少ない**：本人が困っていると感じていないことも多い。

診断方法

「口腔機能発達チェックリスト」を使って、複数の項目に該当するかを確認します。

- **離乳前（赤ちゃん期）**：哺乳の様子、舌の動き、口の形などを観察。
- **離乳後（18 か月以降）**：口唇閉鎖力（口を閉じる力）、舌圧（舌の力）、咬合力（かむ力）、咀嚼回数などを測定。

これらの検査結果を年齢・性別の標準値と比較して評価します

評価のポイント

- 検査値が低いからといってすぐに異常とは限りません。
- **成長の過程で機能が遅れているだけの場合もある**ため、継続的な観察が重要です。
- 口の周りの筋肉のバランスを総合的に見て判断します。

使用される検査機器の例

- **口唇閉鎖力測定器**：「りっぷるくん R」などを使って口を閉じる力を測定。

- 舌圧測定器：「TPM-01」などを使って舌の力を測定。

この考え方は、子どもの口腔機能の発達を早期に見極め、必要な支援を行うための指針としてまとめられています。

白米を食べられない子への対応

発達段階や味覚の個性、食事環境などを踏まえた工夫がカギになります。

 白米を食べない子への主な対処策（1～2歳児中心）

対処法

ポイント

硬さ・水分量を調整する	軟飯やおかゆに戻す、ぬるま湯を加えて柔らかくする
量を減らして「おやき」で補う	軟飯+片栗粉+野菜で手づかみできるおやきを作る
ふりかけや海苔で風味づけ	かつお節+醤油+すりごまなどで簡単ふりかけを手作り
混ぜご飯にする	ツナ・野菜・おかか醤油などで味と栄養をプラス
カレー・あんかけで食べやすく	とろみで飲み込みやすく、味の変化で興味を引く
味付けを少し強めにする	鶏そぼろやケチャップ風味で食欲を刺激（塩分は控えめに）
おにぎりにして手づかみ食べ	小さめサイズ+海苔まぶしで自分で食べる楽しさを演出
楽しい雰囲気づくり	一緒に食べる・オノマトペ（パクパク、モグモグ）で盛り上げる

 心理的・発達的な配慮も大切

- 味覚の発達差：白米の淡泊な味が物足りない子もいます
- 飲み込みにくさ：粒が口の中でほどける感覚が苦手な場合も
- 「食べ方」へのこだわり：スプーンより手づかみが好きなど
- 無理強い逆効果：焦らず、少しずつ慣れさせるのが◎



保育現場での応用ポイント

- 少量からスタート：完食の達成感を大切に
- 食べ終わったら遊べる見通しを持たせる
- 保育士同士で共有し、個別対応を検討
- 保護者との連携：家庭での様子や工夫を共有

白米を食べないことは、成長過程の一部であることが多く、無理に食べさせるより「食べてみたい」と思える環境づくりが大切です。

乳児期（0～2 歳）の「食べない」には、発達段階や環境、心理的要因などが複雑に絡んでいます。

👶 0 歳（離乳食初期～後期）の「食べない」原因

原因

説明

味・食感への違和感 初めての味や舌触りに驚いて拒否することがある

発達の未熟さ 嚥下・咀嚼機能が未発達で、食べにくいと感じる

体調不良・眠気 微熱や眠気で食欲が落ちることがある

母乳・ミルクへの依存 離乳食より慣れた授乳を好む傾向

環境刺激が強すぎる 音・光・人の動きなどで集中できない

👶 1 歳（離乳食完了期～幼児食初期）の「食べない」原因

原因

説明

イヤイヤ期の始まり 自我の芽生えで「食べたくない！」と主張する

満腹中枢の発達 自分で「お腹いっぱい」を感じるようになる

遊びたい欲求が強い 食事より遊びに興味が向いてしまう

味覚の変化 昨日まで好きだったものを急に嫌がることも

親の焦りやイライラを感じ取る 雰囲気が悪いと食欲が落ちる傾向あり

👶 2 歳（幼児食期）の「食べない」原因

原因

説明

偏食・好き嫌いの出現 味・見た目・食感にこだわりが出てくる

生活リズムの乱れ 睡眠不足や運動不足で食欲が低下

おやつの量・時間の影響 間食が多いと食事に影響する

食事環境の問題 テレビ・スマホ・騒音などで集中できない

親の期待が高すぎる 「全部食べてほしい」がプレッシャーになることも

✳ 共通して注意すべきポイント

- **体重・成長曲線の確認**：食べなくても体重が増えていれば過度な心配は不要
 - **食事の雰囲気づくり**：楽しく・安心できる環境が食欲を引き出す
 - **無理強いしない**：食べない日があっても「見守る姿勢」が大切
 - **医師への相談**：極端な拒否や体調不良が続く場合は専門家に相談
-

0～2 歳の乳児期は、身体・心・社会性のすべてが急速に発達する時期であり、保健・発達の視点から特に注意すべきポイントがいくつかあります 🗨️ 📝

👶 0 歳（新生児～12 ヶ月）の注意点

- **身体的発達**
 - 首すわり・寝返り・お座り・ハイハイなどの運動発達を月齢ごとに確認
 - 授乳・排泄・体重増加などの基本的な健康指標を定期的にチェック
 - 予防接種スケジュールの管理（BCG、三種混合など）
- **心理・情緒面**
 - 泣く・笑う・喃語などの表現を通じて、愛着形成が始まる
 - 視線を合わせる、声に反応するなどの社会的反応を観察
- **注意すべき兆候**
- 極端に反応が乏しい、視線が合わない、音に反応しないなどは早期相談対象

👶 1 歳（12～24 ヶ月）の注意点

- **運動・認知発達**
 - つかまり立ち～ひとり歩き、指先の操作（積み木・スプーン使用など）
 - 簡単な言葉の理解と発語（「ママ」「ワンワン」など）
- **社会性・情緒**
 - 人見知り・後追い・模倣行動が活発になる
 - 自我の芽生えによるイヤイヤ期の兆候
- **保健面**
- 歯の生え方・虫歯予防・食事の移行（離乳食→幼児食）
- 1 歳半健診での発達チェック（指差し・積み木・言語理解など）

🗨️ 2 歳（24～36 ヶ月）の注意点

- **言語・認知**
 - 二語文の出現（「ママ きて」「ワンワン いた」など）
 - 「これなに？」などの質問が増え、語彙が急増

- **社会性・行動面**
 - 自己主張が強くなる（イヤイヤ期本格化）
 - ごっこ遊び・友達との関わりが始まる
- **保健・生活習慣**
- 着替え・トイレ・食事などの自立行動の練習
- メディア視聴時間の管理（日本小児科学会は2歳未満の長時間視聴を推奨せず）

特に**1歳半健診**や**言語・社会性の発達**は重要なチェックポイントです。

保育DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、単なるICT導入にとどまらず、**保育の在り方そのものを変革する取り組み**です 🧩 ⭐

💡 保育ICTとDXの違い

用語	意味	具体例
ICT （ Information and Communication Technology）	情報通信技術を活用して業務を効率化する「手段」	登降園管理、連絡帳アプリ、請求業務のクラウド化
DX（Digital Transformation）	ICTを活用して業務や組織の構造を根本から変える「目的」	AIによるシフト最適化、データ分析による保育の質向上

💡 保育DXの導入で何が変わる？

- **事務作業の効率化**
 - 手書きの日誌や連絡帳 → タブレットやアプリで入力
 - 給付・監査書類 → 自動作成・オンライン提出
- **保護者対応のスマート化**
 - 見学予約や入所申請 → スマホでワンストップ申請
 - 保育料などの集金 → キャッシュレス決済
- **自治体との連携強化**
- 「施設管理プラットフォーム」によるデータ共有
- 給付・監査業務の標準化と自動化

🎯 期待される効果

- 保育士の**事務負担軽減** → 子どもと向き合う時間の確保
- 保護者の**保活負担軽減** → 情報収集・申請がスマホで完結
- 自治体の**業務効率化** → 入力・審査作業の自動化

✅ 保育 DX の好事例

1. ワンストップシステムによる手続き簡素化

こども家庭庁が推進する「保育 DX」では、保護者が保育施設の見学予約・入所申請・情報収集を一括で行えるワンストップシステムの導入が進められています。これにより、保護者の負担が軽減され、保育士が子どもと向き合う時間を確保できるようになっています

2. 保育現場での業務支援アプリやデジタル台帳の導入が進んでおり、事務作業の効率化と情報の一元管理が実現されています

3. 地方自治体との連携による標準化

複数の自治体が連携し、給付・監査業務に必要な情報を標準化・共有することで、事業者側の報告作業の重複を減らす取り組みが進んでいます

⚠️ 保育 DX 導入における課題

1. 書類作成・事務負担の多さ

保育施設では、給付申請や監査対応のために多くの書類作成が求められ、自治体ごとに様式が異なるため、事業者にとって大きな負担となっています

2. ICT 導入の地域差

ICT の導入が進んでいる自治体とそうでない自治体の間で格差があり、全国的な展開にはまだ課題が残っています

3. 保護者対応の時間的負担

電話での見学予約や個別問い合わせ対応など、保育士が日中に対応しなければならない業務が多く、現場の負担が大きい状況です

最近の乳児保育は、少子化や保育士不足といった社会的背景を受けて、大きく変化しています。

🌟 保育政策の新たな方向性

📉 少子化と「保育の 2025 年問題」

- 出生数が初の 70 万人割れ（2024 年度）
- 地方では園児数の減少により、保育所の統廃合や多機能化が進む見込み
- 都市部では依然として待機児童問題が残る一方、地方では園児確保が課題に

👤 保育士の職場環境と人材確保

- 潜在保育士の復職支援強化
 - 就職準備金や保育料の貸付制度（2 年勤務で返済免除）

- メンタルヘルスケアの重要性
- 保育士のストレス対策や相談体制の整備が進行中

乳幼児の目とバイオレットライト、外遊びに関する最新の研究情報

最新研究の概要：バイオレットライトと乳幼児の視力発達

1. バイオレットライトの近視抑制効果

バイオレットライト（波長 360～400nm）は太陽光に含まれる光で、網膜の OPN5 という光受容体に作用し、網膜外側の脈絡膜の血流を増加させることが報告されています。脈絡膜の血流が低下すると薄くなり、近視の進行に関与することが分かってきました。この光を浴びることで、近視の進行を抑える可能性があると考えられています。

2. 屋外活動と視力の関係

群馬県前橋市で行われた研究では、1 週間の集中的な屋外活動（登山や野外調理など）を行った小中学生の脈絡膜の厚さが有意に増加したことが確認されました。これは近視抑制に効果がある可能性を示唆しています。

3. バイオレットライトの遮断と室内環境

一般的な窓ガラスやメガネ、コンタクトレンズではバイオレットライトはほぼ 100%遮断されるため、室内ではほとんど浴びることができません。したがって、屋外での活動が重要であると考えられています。悪天候や猛暑などで散歩や外遊びの機会が少なくなりがちですが、保育計画に無理のない外遊びを取り込むことは、目の健康にもよい働きが期待できます。

保育園で園児が百日咳にり患した場合の対応について、2025 年時点の最新の行政指針および保育現場の対応実践について

百日咳にり患した園児への対応

1. 登園停止の基準

百日咳は「学校保健安全法」において第 2 種感染症に指定されており、登園停止の基準が明確に定められています。

● 登園再開の条件

- 「特有の咳（発作性けいれん性咳嗽）が消失するまで」
- または「適切な抗菌薬治療を 5 日間以上行った後」

2. 保育園内での感染拡大防止策

✓ 感染源対策

- ・ 発症者は速やかに隔離し、保護者へ連絡。
 - ・ 医療機関での受診と治療を促す。
-

✓ 感染経路遮断

- ・ 咳エチケットの徹底（2歳以上のマスク着用など）
 - ・ 手洗い・うがいの励行
 - ・ 換気の強化（窓開け、空気清浄機の活用）
 - ・ おもちゃやドアノブなどの共用物の消毒
-

✓ 感受性者対策

- ・ ワクチン未接種児や未感染児への注意喚起
 - ・ 保護者への情報提供と協力依頼
-

3. 保護者への対応と連携

- ・ 感染症発生時には、速やかに保護者へ周知。
 - ・ 登園再開の日安や必要書類（登園許可証など）を明示。
 - ・ 園内での感染状況や予防策を丁寧に説明し、安心感を与える。
-

4. 職員間の情報共有と記録

- ・ 感染症発生時の対応マニュアルに基づき、職員間で対応を統一。
 - ・ 発症日、症状、対応内容を記録し、必要に応じて保健所へ報告。
 - ・ 感染症対策会議や研修で事例共有を行
-

※保健衛生面が特に重要となる 0, 1, 2 歳児の保育には、保育所における感染症対策ガイドラインに、しっかり目を通し園内で共有しましょう。



保育所における感染症対策ガイドライン (2018 年改訂版)

オンデマンド動画の中でひとつとおりのご説明をさせていただいているところではありますが、2025 年現在の 1 歳児健診の検査項目（標準的な内容）について、0.1.2 歳児のクラスを担当される皆様におかれましては健康診断の勧めも大事な保護者支援の一つとなります

早期発見早期療育に向けた保育現場で気づいたことを保護者に共有して行くことも大事な私たち保育者の使命であると考えます

厚生労働省や地方自治体が推奨する 1 歳児健診では、以下のような項目が標準的に実施されています

1. 身体計測

- ・ 身長・体重・頭囲・胸囲の測定
- ・ 成長曲線との比較による発育状況の確認

2. 運動・発達の確認

- ・ つかまり立ちや歩行の様子
- ・ 手指の動き（つまむ・握るなど）
- ・ パラシュート反射の有無
- ・ 視覚・聴覚の反応（呼びかけへの反応、目線の合い方など）

※本日研修の中でお話をさせていただきました視覚特に目線の相方や呼びかけの反応などについても検診実施項目に入っております 気になる子どもについては特に検診を正しく受信できているか保護者から健診情報を聞くようにしましょう

3. 言語・社会性の発達

- ・ 簡単な言葉の理解や発語の有無
- ・ 人見知りや親との関係性
- ・ 表情や感情の表出

4. 食事・栄養状態

- ・ 離乳食の進み具合
- ・ 食物アレルギーの有無
- ・ 授乳状況（母乳・ミルク・混合）

5. 生活習慣

- ・ 睡眠リズム
- ・ 排泄の様子（便秘・下痢など）

6. 予防接種の確認

- ・ 定期接種の進捗状況（MR、ヒブ、肺炎球菌など）

7. 保護者との面談

- ・ 育児の悩みや不安の聞き取り
- ・ 虐待や育児困難の兆候の確認

2025 年の制度的な変更点と注目ポイント

最新の資料によると、2025 年度から以下のような制度的な強化・変更が進められています

✔ 保育士配置基準の見直し

- 特に1歳児クラスにおいて、保育士1人に対する児童数が「6:1→5:1」に改善され、より丁寧な発達支援が可能に。

✔ ICT活用の推進

- 健診記録や保護者連絡、登降園管理などにICTを導入し、情報共有と業務効率化を図る。

✔ 発達障害や医療的ケア児への対応強化

- 聴覚・言語・運動・アレルギーなどの障害に対する早期発見と支援体制の充実が進められている

✔ 母子健康手帳のデジタル化

- 「音声認識」や「家庭以外の記録欄」などが追加され、保護者・医療者間の情報共有がしやすくなっている
- 視線が合わない・呼びかけに反応しないなどの行動は、聴覚障害や自閉スペクトラム症の可能性を示唆することがあり、健診での観察が重要です
- 保育現場との連携が強化されており、健診で気になる点があった場合、保育士と保護者が協力して支援体制を整える流れが推奨されています。

乳児（0～3歳児）のあそび、
どのようになさっていますか？
皆さんの園で「工夫して」「取り入れている」
あそびについて
話し合ってください。
Cf:タイヤあそび・雑巾あそび・いもむしごろ～んあそび…
季節や子どもたちの“やってみたい”に寄り添ったあそびetc…

グループワーク

園庭が無い

➡水遊びをちょっと裏の駐輪場みたいなところに場所を借りて下にマット敷いてやってたりして、 0・1・2歳の同じフロアに居るので、限られた時間の中で水遊びをしている

2歳児さんは

泡を混ぜて泡に絵の具をつけて、それを混ぜて変化を見るとか、手で描いたり塗ったりしてそれ乾かしたらどうなるかとか… あとシャボン液に色付けてシャボン玉吹いたり、

部屋が三つの部屋に分かれていて、ゼロ歳児一歳児 2歳児 19名しかいないので基本のご飯もお昼寝も合同 遊びも…

例えば、体操とかでもやっぱり 2歳児はすごい激しい体操を好むので、そこにゼロ歳児を入れるとなるとヒヤリハットに繋がってしまったりする部分もあるので気をつけながらあそびを合同か分離で検討している

牛乳パックで作ったパーテーションや、段ボールで作った仕切りを使った遊びをしている
同じ空間の中に居るけれど、パーテーションで分かれて 体操をしたり 保育士の人数によって激しい遊びをしたいから落ち着いて遊びたい子はあの隣の部屋で粘土だとか指先を使ったおもちゃで遊んだりしています

園児はブランコが好きだけれど、今は夏場で暑くて公園に行けないので、ブランコ遊びができないのでお部屋で大きなバスタオルより大きめの大型タオルで、子どもたち順番で保育士が手で動かすゆりがごぶらんこを楽しんでいます

食育の日を月に1回設けていて、栄養士さんをお願いしてるのですが、7月だったらとうもろこしの皮むきとかで、8月になったらスイカ割り等…

0歳児

保育士とのスキンシップを大事にされていて、安心感とか心地よさを感じるような遊びを多く取り入れています。**ふれあい遊び**は、歌を歌いながらの優しいタッチをするなどして、子どもたちの笑顔が増える遊びで、けっこういいですよ。

あと、ハイハイレースって呼んでるんですけど、四つん這いで移動することで、首や体幹の筋肉を鍛えたり、空間認識力も育まれますあそびを今年から取り入れています。

ボール遊びなんかは、転がすことがメインですけど、触ったり、投げたりっていう動作を通じて感覚刺激を楽しむような遊びを、結構多めに取り入れている感じです。

二歳のクラスですけど、なるだけ歩くとか止まるといった動きの遊びをやっています。走るまではしなくてもやはり動きを感じる遊びは二歳児には人気です
激しい遊びではないんですけどもやっぱり1歳〜2歳になると動きのある全身運動を取り入れないと、静的な遊びだけでは満足感がないという印象です
粘土遊びなんかもやっているんですけども、やっぱり二歳になると少しでも指先を使う例えば指先で形を使うといった遊びをすることを意識して保育計画に取り入れています や
やはり集中力ですとか想像力というものを意識して育てていきたいという園の考えも遊びには反映されているかなと思っています

私たちの園では1歳のクラスで圧縮袋に空気を入れて柔らかめのマットの上でゴロンと寝転んで見るような触ったりバランス感覚を身につけたり刺激のある遊びというのを取り入れています あと最近は新聞自体が少なくなってきたんですけども、例えばくるくるで丸めて投げたりちぎったりという特に新聞の場合は音の感触が楽しいので一切クラスの遊びにはとても向いてると思っています

暑いこの時期は保育園のそばの草花をよもぎとかいろんな形をした葉っぱを氷の真ん中にくるように凍らせてその葉っぱの入った氷を手で触って楽しむといった氷遊びがとても人気です

最近は新聞紙自体が保護者の方達から寄付して頂けたり保育園の先生たちが自宅から気軽に古新聞をもってくるといったことができなくなったので、チラシ遊びといった形で取り入れています

ちらしあそび

チラシ遊びは人気なのはサーティーワンのアイスクリームに丸めたチラシを見立ててサーティーワンごっこをするのが今はとても流行っている遊びです

私たちの園はゼロ歳から二歳までわりと共同で遊ぶこともあって片栗粉のスライムとか小麦粘土や高野豆腐などを使った五感で楽しめる刺激食育遊びを積極的に取り入れているのですが、片栗粉小麦粉高野豆腐といったものは食育という遊びの視点でもとても良い遊びである反面食べ物ですのでゼロ歳から二歳までで初めてのアレルギーが出てしまわないかという心配も最近はしているのでこれからどのような素材を使った遊びを取り入れていく

のが良いのか少しこれを機に考えてみた方が良いかもしれないとも思っています

最近はお天気も悪天候が続く中、また猛暑で熱中症などを考えると気軽に外に行くのも難しいと言ったところもありますしバギー自体がものすごく熱を持っていて気軽に子供を乗せるというのもむずかしい日もあるくらいで、皆さんの園では雨の日でも楽しめる室内遊びってどうしていますか？

生活リズムをなるべく乱さないで楽しめる遊びややっぱり制作やごっこ遊びが中心になるのですが最近の製作遊びで気をつけていることはなるべく自然の素材を使ったり子供の手や体に優しい素材を使ったりしようということで絵具を使わず食紅を薄めて使ったりしその葉から色を抽出してそれを色水や製作の素材にして使うといった工夫もしているところです

子供たちに食べ物や草花の生き物の大切さというものを伝えながら大事に使うように心がけていて、0.1.2歳だからこそ、そういった自然の恵みについても子どもたちと保護者と共有できるような遊びをとりいれるように今年からしています

私たちの園は防災頭巾をサーキットのような形で遊びに見立てて防災頭巾に慣れ親しんでもらうといった側面からの遊びをやっています

私たちの保育園ではタイヤ遊びというものを結構楽しんでいてタイヤ遊びはとても人気です

私たちの保育園はダンボールでトンネルを作ったりする廃材を使った遊びを積極的に取り入れています

私たちの園では色水遊びを異年齢で行っています

園庭がない保育園だからこそどんぐりや季節の果物野菜などをなるべくお部屋の空間において身近に手で触ることができるような落ち葉や栗や松ぼっくりといったものを自然と身近に感じられるような教室内の壁面や置物そして活用すれば、園庭はないけれども季節感を感じたり等身大の季節の恵にふれることができます

最近では雨水を貯めてエスディージーズの視点からも自然の恵みを大切にする遊び雨水を有効活用する遊びを取り入れるようにしたりしています

新聞とチラシの材質の違いを少し考えてみますと新聞紙は柔らかくチラシは比較的柔らか

いものから硬い物まで材質の違いがあることが特徴ではないでしょうか

新聞紙の材質と特徴は再生紙が使われていることが多いのが特徴ですが古紙を原料としていますから繊維が短く表面がザラザラしているのも特徴です薄くて破れやすいですけれどもこの性質が子供たちの遊びに応用できるのでとても保育園での紙あそびに適していると思います 新聞紙は包む遊びやお掃除遊び工作などいろいろなところで使えて良いですよ
ね

チラシ特に広告の紙の材質や特徴と考えるとコート紙や上質紙など表面が滑らかで光沢がある紙が使われることが多いですよ pulpの繊維が長い表面の加工が施されているためコーティングされている紙が多い特徴印刷も鮮明ですからチラシの中に出てくる写真やイラストなどもそのまま使えて便利ですね 子供たちが気に入ったデザインイラスト写真などを見つけたらはさみで切って画用紙に貼ったりする遊びに応用することもできます

季節ごとのチラシには、その時期の野菜や観光地の写真などが載っていたりまた美味しそうなお料理の写真が載っていたりするのでそれをそのまま切り取って保育遊びに使うこともできますね

グループワークでタイヤ遊びの話を発表していただきましたが、タイヤを使った遊びは、子どもたちの相手のことを感じ考える力を育てるそのような視点で考えた時、タイヤの特性は幅がある柔らかさがある凹凸があるといったことを子供たちが理解して、例えばタイヤを使った手つなぎ隊やわたりや忍者走りといった活動は二歳くらいになると筋力やバランス感覚そして空間認識や予測力を養うことにつながる遊びとして元しく子供たちの日常の保育に取り入れることができます またゆっくりと進むことで体の運動性を確認しながら遊ぶこともできます

タイヤ遊びは子どもの運動能力や想像力を育てていく遊びの一つですが、衝突や転倒といったリスクそして落下の危険も伴います安全に遊べる環境づくりを整えてタイヤ遊びを楽しむ必要があります タイヤの設置場所には十分なスペースを周りに確保できているのかタイヤを固定する場合には転倒防止のためしっかりと地面に固定されているかタイヤの周りに芝生やマットなどを敷くといった転倒したときの衝撃を緩和する準備も必要です また園庭でタイヤ遊びをする時はタイヤが熱をもち熱くなっていないかなど火傷のリスクも 012 歳では考えて皮膚が薄くやけどしやすいので、遊びを安全に展開して行くことが望まれます

**乳児（0～3歳児）の保護者支援
はどのようになさっていますか？
皆さんの園で「対応」をしている
良い事例 困った事例等を
話し合ってください。
Cf:うちの子食べないんです…
どうしたらいいのでしょうか？**

【グループワーク：保護者対応について 好事例～困っていること等】

白米が食べられない子供がいます

ご家庭ではどのように白米を食べているのかなど聞き取ったところほとんど白米という形で食事をしている様子がなかった ご家庭では混ぜご飯やかけご飯などで食べているということでしたのでなるべく家庭と同じ形に保育園の給食提供時にも混ぜご飯やかけご飯に近い形で提供しながら少しずつ白米に慣らしているところです

普段保護者支援をしているけれどもあの時の対応は良かったのだろうか今となってはどうだったのかなと思うことが多いですがみなさんはどうしていますか

私の園はやりたくないことがあるとジャンプしたり机の上に乗ったりしている子どもがいます皆さんの保育園ではどのような対応をしていますか

私たちの保育園では口が大きく開かない食が進まないといった子供がいますおうちの様子を聞いてみるとパン粥なら食べられているということでしたのでパン粥に近い形で給食を提供してみたりしています先ほど研修の休憩の際に少し子供の食べる様子を観察して来ましたが今日は少し食べていたようです

離乳食が進まない子供がいます

ミルクを飲めない子供がいます

どのようなペースでどのような方法で子どもに接したらよいのか保護者支援をして行けばよいのか皆さんの保育園ではどのようになさっていますか

いろいろなケースが見受けられると思いますが子供にはそれぞれの嗜好や思い特性があります個人差お大事になぜ食べないのかなぜミルクのみが緩やかであるのかなど原因となる背景を探ることも大事ですが私たちが決定することではありませんそれは小児科などの意思が決定したり保護者が決定することであり私たちはその子育てに寄り添っていく立ち位置であることを忘れずに例えばゆっくりの子供がいてもそのゆっくりの子どもの育ちに

ゆったりとした気持ちで寄り添うなども一つの選択肢ではないでしょうか

私の保育園では長く咳が続く子供がいたので、咳が出る様子を保護者に尋ねたりして居たのですが病院の受診につなげたところ、百日咳であることがわかりました

普段から病院の受診を勧めるように組織で共有しているところですが、一方なかなか病院を進めるというのはタイミングも難しい部分があります

本日一般社団法人保育栄養安全衛生協会 東京都保育士等キャリアアップ研修「乳児保育」にご参加ご受講いただきました先生方貴重なお時間をありがとうございました

またグループワークではご理解ご協力など大変ありがとうございました リーダーを務めてくださいました先生にも改めて御礼を申し上げます

昨年度よりさらに一時間少なく 4 時間リアル研修となりましたので幅広に講義をする時間はとれませんでした、グループワークなどの中で一つでも保育園で取り入れてみようと思えることが見つかりましたでしょうか

限られた時間の中でございましたので本日研修でお話をさせていただいたことグループワークでお話を交えていただいたことの一部につきまして、メモ的ではありますが資料をここに先生方へお渡ししたいと存じます

一般社団法人保育栄養安全衛生協会 及び 特定非営利活動法人ちゅーりっぷの心では、年間 120 回全科目の開催を人間総合科学大学会場開催そしてズーム研修開催の両方で開催しております

また先生方とお目にかかれますことを楽しみに出しております

暑い日が続きますがお体大切にお過ごしください

講師 五十嵐



**特定非営利活動法人
ちゅーりっぷの心**

東京都保育士等キャリアアップ研修事務局
特定非営利活動法人ちゅーりっぷの心
栄養セントラル学院
研修専用受付
TEL : 090-2455-8877
(TEL受付時間:平日 9:30-16:15 ※昼12:00-13:00除)
Email : career.ad.hoiku@eiyo3.jp

 **お問い合わせフォーム**

一般社団法人保育栄養安全衛生協会の東京都保育士等キャリアアップ研修もお勧めします。

